

令和4年度

学生によるオレンジリボン運動

中部学院大学 実施報告書



実施主体 ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ大藪クラス

実施内容 オレンジリボンの紹介と子どもへの虐待を防ぐための啓発

①事前に取り組んだ内容

児童虐待の現状について調べ、どのような支援が行われているかを学んだ。そのうえで、小グループに分かれ、オレンジリボン運動について、どのようなことを伝えたいか、どのように伝えるかを検討した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・本学で実施される「たのしみん祭」の来場者の方に、オレンジリボンの意味を知ってもらえるよう、展示を作成した。また、メッセージ入りマスクを配布した。
- ・子どもへの虐待を少しでも減らすためのメッセージを記入し、貼っていただく掲示を作成した。

③オレンジリボン運動を終えて…

社会福祉士をめざして学んでいる学生が、子どもへの虐待についてその現状と背景について関心を持つきっかけとなった。

子どもを守るだけでなく、子育てを支援することが必要であることを学んだ。

さらに、住民にどのように関心を持ってもらうか、という視点を持つことができた。伝える技術を学び、実践をしていく必要があることを学べたと思われる。

写真

